



各務原市政記者クラブ同時配布資料
岐阜県政記者クラブ加盟社 各位

令和6年12月16日(月)岐阜県発表資料		
担当課	担当者	電話番号
各務原市市民生活部 環境政策課	課長 岩井 健	直通 058-383-4232 FAX 058-383-6365
岐阜県環境生活部 環境管理課	課長 安藤 英樹	内線 2980 直通 058-272-8230 FAX 058-278-2610

各務原市内全域におけるPFOS及びPFOAの水質調査結果 及び追加調査の実施について

各務原市では、市内のPFOS及びPFOAの汚染状況を把握するため、昨年度から市内全域 95 箇所の井戸において年1回の水質調査を実施しています。

今般、今年度の水質調査を実施したところ、下記のとおり6本の井戸から、国の定めた暫定目標値を超えるPFOS及びPFOAが検出されましたのでお知らせします。

なお、6本のうち2本の井戸については、今年度の調査で新たに超過をしました。

また、今回の調査において新たに暫定目標値を超過した井戸が確認されたことを踏まえ、周辺井戸において追加の水質調査を実施します。

記

1 各務原市内全域調査の結果

(1) 結果概要

項目	井戸水の利用状況	調査井戸数	暫定目標値 超過井戸数 ()内は昨年度との増減	昨年調査での 暫定目標値 超過井戸数
PFOS 及び PFOA	飲用	42	3 (+2)	1
	非飲用	53	3 (-1)	4
合計		95	6 (+1)	5

(2) 今年度の調査で新たに暫定目標値を超過した井戸

	町名	利用状況	調査結果 (ng/L) ※	暫定目標値 (ng/L) ※	超過倍率	【参考】 昨年調査結果 (ng/L) ※
1	那加官有地	飲用	70	50 以下	1.4 倍	33
2	那加官有地	飲用	74		1.4 倍	38

※調査結果及び暫定目標値はPFOS及びPFOAの合算値を示す。(以下同じ)

(3) 今年度調査で前年度調査に引き続き暫定目標値を超過した井戸

	町名	利用状況	調査結果 (ng/L) ※	暫定目標値 (ng/L) ※	超過倍率	【参考】 昨年調査結果 (ng/L) ※
①	大佐野町	飲用	61	50 以下	1.2 倍	68
2	那加桜町	非飲用	57		1.1 倍	67
③	鵜沼三ツ池町	非飲用	150		3.0 倍	140
④	鵜沼三ツ池町	非飲用	57		1.1 倍	70

□囲みの3つの井戸については、縣市合同で実施した継続モニタリング調査と重複している地点であり、10/30に結果公表済みです。

2 追加調査について

(1) 調査期間

令和6年12月17日(火)から1か月程度

(2) 調査内容

今回の調査において暫定目標値を超過したことを踏まえ、新たに超過が確認された井戸の周辺井戸において、井戸水の利用状況調査及び水質調査を実施します。

イ 井戸の利用状況調査

調査範囲内の家庭及び事業場等に対し、井戸の設置状況を確認します。また、井戸所有者又は利用者の方に対し、井戸水の飲用の有無、井戸水の用途等の調査を行います。

ロ 井戸水の水質調査

採水担当者が訪問し井戸水を採水後、分析機関で水質検査を行います。
各務原市が飲用井戸の調査を行い、県が非飲用井戸の調査を行います。

(3) 調査結果の公表

調査結果については、各務原市と県にてとりまとめた後、公表します。

【PFOS、PFOAに関する説明】

PFOS（ペルフルオロオクタンスルホン酸）、PFOA（ペルフルオロオクタン酸）は、幅広い用途で使用されてきました。具体的には、PFOS については、半導体用反射防止剤・レジスト、金属メッキ処理剤、泡消火薬剤などに、PFOA については、フッ素ポリマー加工助剤、界面活性剤などに主に使われてきました。

PFOS、PFOA は、動物実験では、肝臓の機能や仔動物の体重減少等に影響を及ぼすことが指摘されています。また、人においてはコレステロール値の上昇、発がん、免疫系等との関連が報告されています。しかし、どの程度の量が身体に入ると影響が出るのかについては十分な知見はありません。そのため、現在も国際的に様々な知見に基づく基準値等の検討が進められています。また、国内において、PFOS、PFOA の摂取が主たる要因と見られる個人の健康被害が発生したという事例は確認されておりませんが、環境省は内閣府食品安全委員会が行った食品影響評価の結果等を踏まえ、最新の科学的知見に基づき、暫定目標値の取扱いについて、専門家による検討を進めています。

参考：PFOS、PFOAに関するQ&A集 2024年8月時点
(環境省 PFASに対する総合戦略検討専門家会議)